



“We supply the best use of space.”

2021年12月期第2四半期 決算説明資料

2021年7月28日
エリアリンク株式会社



トラックハウス24横浜磯子
60室



ハローストレージ足立見沼代親水公園
41室

- I. 2021年12月期第2四半期決算概要／通期業績見通し
- II. 基本方針と重点施策
- III. Appendix

2021年12月期第2四半期決算概要 通期業績見通し

取締役管理本部長 佐々木 亘

上期6ヶ月では減収増益、予算を大きく上回り着地

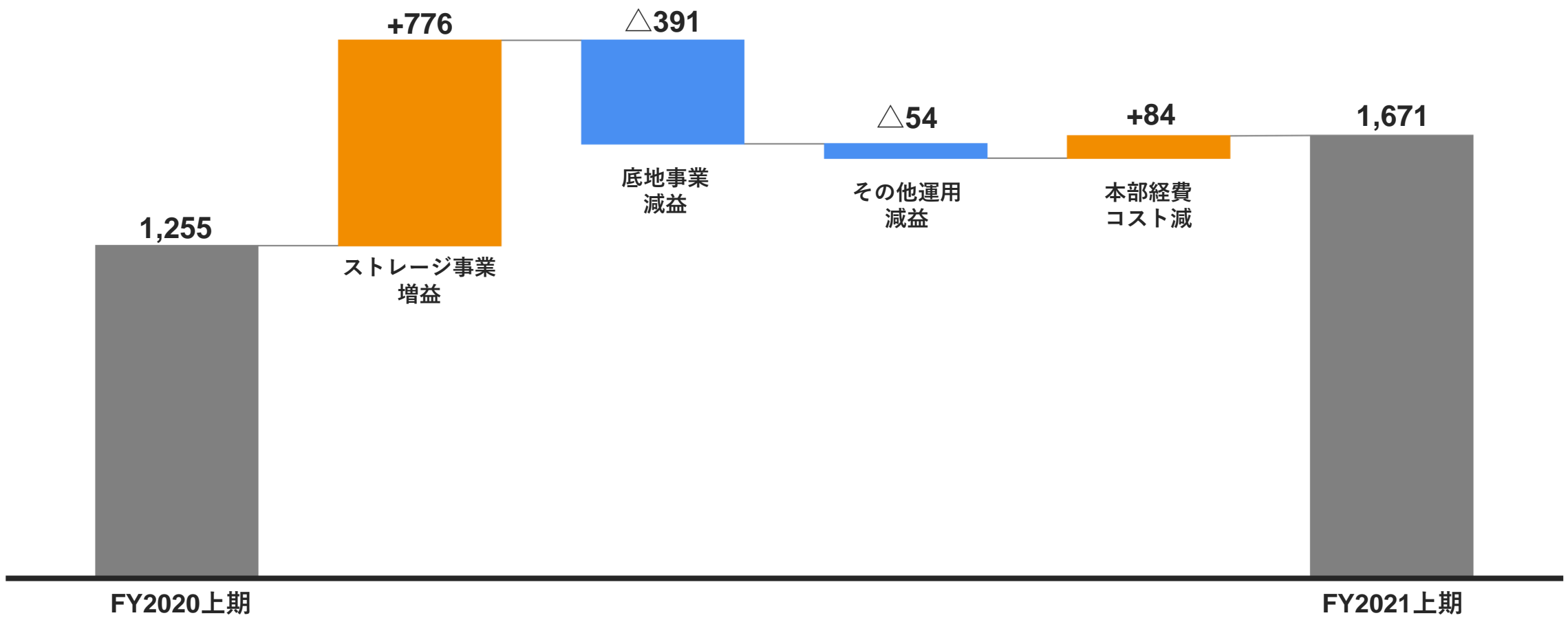
単位：百万円	FY2020_上期(1-6月)		FY2021_上期(1-6月)		
	実績	売上比	実績	売上比	前年同期比
売上高	11,791	—	10,753	—	△ 8.8%
売上原価	8,802	74.7%	7,588	70.6%	△ 13.8%
売上総利益	2,988	25.3%	3,164	29.4%	+ 5.9%
販管費	1,733	14.7%	1,493	13.9%	△ 13.8%
営業利益	1,255	10.7%	1,671	15.5%	+ 33.1%
経常利益	1,217	10.3%	1,668	15.5%	+ 37.0%
四半期純利益	830	7.0%	1,363	12.7%	+ 64.3%

- ◆ 売上は予算達成、利益は当初業績予想を大きく上回り着地
- ◆ ストレージ運用が大幅増益
稼働率は前年同期比5.31pt増の83.39%、過去10年の最高値
- ◆ 土地権利整備事業(底地)は減収減益も対予算で前倒しで着地
- ◆ パーキング事業の事業譲渡益約2億円を特別利益に計上

前年1Qの底地大型案件の減益をストレージ事業の増益が大きく上回る

営業利益増減の内訳

単位：百万円



ストレージ運用が大幅増益

単位：百万円			FY2020_上期 (1-6月)		FY2021_上期 (1-6月)		
			実績	売上比	実績	売上比	前年同期比
ストレージ 運用	売上高	6,869	—	7,385	—	+ 7.5%	
	売上総利益	1,494	21.8%	2,311	31.3%	+ 54.6%	
	事業利益	933	13.6%	1,719	23.3%	+ 84.1%	
ストレージ 流動化	売上高	569	—	482	—	△ 15.3%	
	売上総利益	75	13.3%	52	10.8%	△ 31.2%	
	事業利益	△ 68	—	△ 78	—	+ 13.2%	
ストレージ事業	売上高	7,439	—	7,867	—	+ 5.8%	
	売上総利益	1,570	21.1%	2,363	30.0%	+ 50.5%	
	事業利益	865	11.6%	1,641	20.9%	+ 89.8%	
土地権利整備事業 (底地)	売上高	3,482	—	2,193	—	△ 37.0%	
	売上総利益	1,098	31.5%	575	26.2%	△ 47.6%	
	事業利益	778	22.4%	387	17.7%	△ 50.2%	
その他運用 サービス事業	売上高	869	—	691	—	△ 20.4%	
	売上総利益	320	36.9%	226	32.7%	△ 29.4%	
	事業利益	247	28.5%	193	28.0%	△ 21.8%	
管理本部	売上高	—	—	—	—	—	
	売上総利益	—	—	—	—	—	
	事業利益	△ 635	—	△ 551	—	△ 13.3%	
全社	売上高	11,791	—	10,753	—	△ 8.8%	
	売上総利益	2,988	25.3%	3,164	29.4%	+ 5.9%	
	営業利益	1,255	10.7%	1,671	15.5%	+ 33.1%	

ストレージ運用は増収増益、稼働率が前年同期比5.31ポイント増

◆ ストレージ運用は増収増益を継続

- ・ 稼働率上昇による収益性改善、コンテナ買戻しによる原価低減により大幅増益を達成
- ・ 在庫減少の中、2020年実施の現場改善が寄与し、稼働率が上昇

◆ 稼働率が83.39%、前年同期比+5.31ポイント

- ・ 2021年6月末時点の総室数は97,836室(前年同期比△453室)
- ・ 稼働率は83.39%と前年同期比で5.31ポイントの増加
過去10年の最高値であり、上場来最高値である83.72%(2009年)に迫る勢い

◆ ストレージ流動化：1Qに販売1件・受注2件を計上、2Qは販売なし

- ・ 3件ともに2019年に出店が決定した土地付きストレージ（内、ハロービズハウス1件）

2021年上期で戻り益を計上、買取交渉は継続中

買戻損失引当金の推移 2021年上期6ヶ月

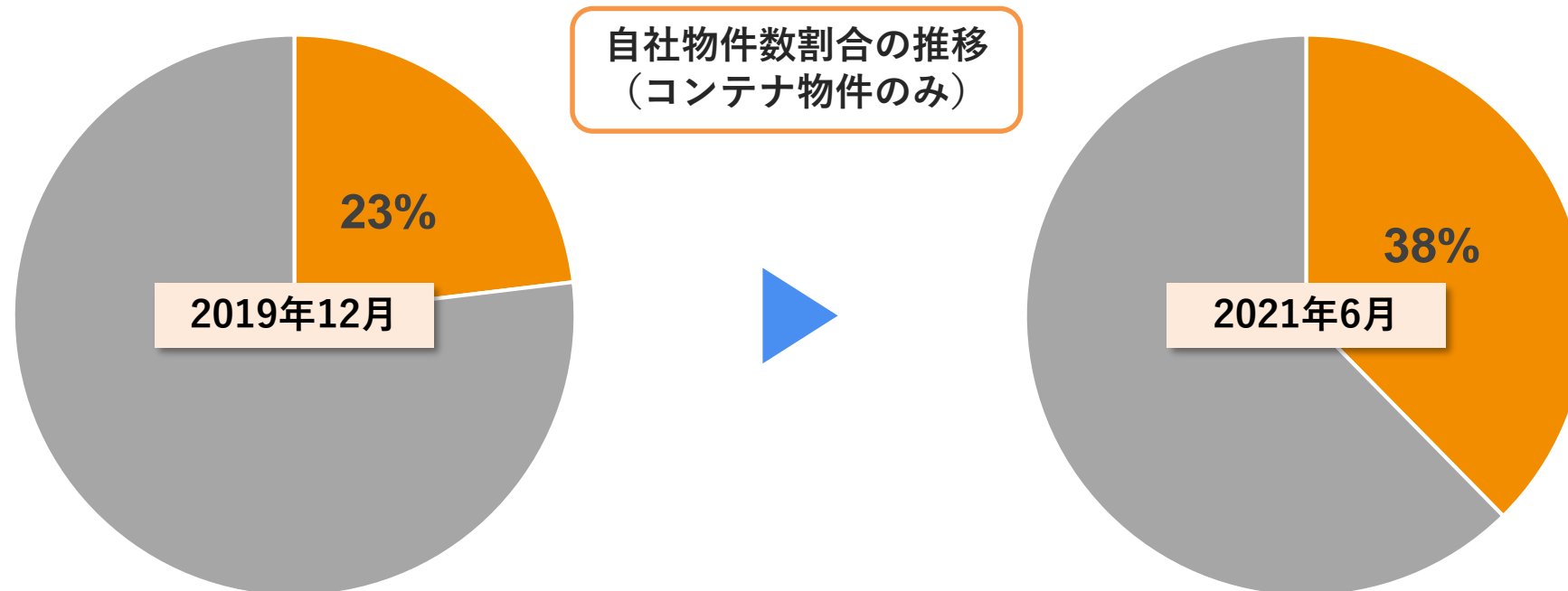
単位：百万円

期首残高	目的使用 (買取実施)	買取不要による 取崩し額	その他 (洗替)	期末残高
2,297	290	44	—	1,962

- ◆ 継続的に交渉を実施する方針、2021年中の妥結を目指す
- ◆ 買取は割賦払が基本方針、キャッシュ・フローには大きな影響はなし
- ◆ 買取実施後はストレージ運用利益を押し上げる効果あり

自社出店の方針・買戻しによる自社物件比率の改善が増益に寄与

- ◆ 収益性の高い自社コンテナ物件(コンテナ所有者＝自社)の割合がコンテナ物件全体の38%と、買戻しを発表した1年半前から15ポイント改善
 - ・ 2019年下期より、投資家出店から自社出店への方針転換を実施
 - ・ コンテナの買取による自社コンテナ物件化が進むにつれ全体の収益性も向上



大幅減収減益も、販売計画に対して前倒しで進捗

◆ 減収減益・予算に対して前倒しで着地

- ・ 20年1Qに大型案件の売却（売上約11億円・利益約3億円）があり大幅減収減益
- ・ 売上、利益ともに通期計画に対して前倒しで着地

◆ 在庫額は3,311百万円（前期末比△955百万円）

- ・ 厳選仕入を徹底、在庫は減少

◆ 大量の在庫を抱えるのではなく、少ない在庫で回転率を高くする事業へ

- ・ 月による変動はあるものの、毎年確実に一定の利益が見込める安定収益事業に
- ・ セールスフォースを活用した在庫管理で出口戦略を全体で共有

貸会議室・パーキング事業撤退に伴う影響で減収減益も予算は達成

◆ アセットは減収減益も予算達成

- ・ 当社保有ビルの一部テナントの賃料減額要請にお応えしている影響で減収減益

◆ レンタルオフィスは減収減益も予算達成

- ・ 減収要因：好調な稼働率は維持しているものの、稼働率は前年比で微減
- ・ 減益要因：物件の新規オープンに伴う出店費用・運営費用

◆ 事業の選択と集中

- ・ 2020年12月に貸会議室事業を終了
- ・ 2021年3月にコインパーキングを運営する「パーキング事業」を事業譲渡
- ・ 事業譲渡に伴い、事業譲渡益として193百万円を計上

特別利益：買戻損失引当金戻入益、パーキング事業の譲渡益を計上

単位：百万円

	FY2020 上期	FY2021 上期	前年同期比
営業利益	1,255	1,671	+ 33.1%
営業外収益	44	65	+ 47.9%
営業外費用	83	69	△ 16.5%
経常利益	1,217	1,668	+ 37.0%
特別利益	9	257	+ 2525.0%
特別損失	8	17	+ 107.8%
税引前四半期純利益	1,218	1,908	+ 56.6%
法人税等	238	455	+ 90.5%
法人税等調整額	149	89	△ 40.0%
四半期純利益	830	1,363	+ 64.3%

営業外収益
移転補償金 23百万円

営業外費用
支払利息 52百万円

特別利益
事業譲渡益 193百万円
買戻損失引当金戻入益 44百万円

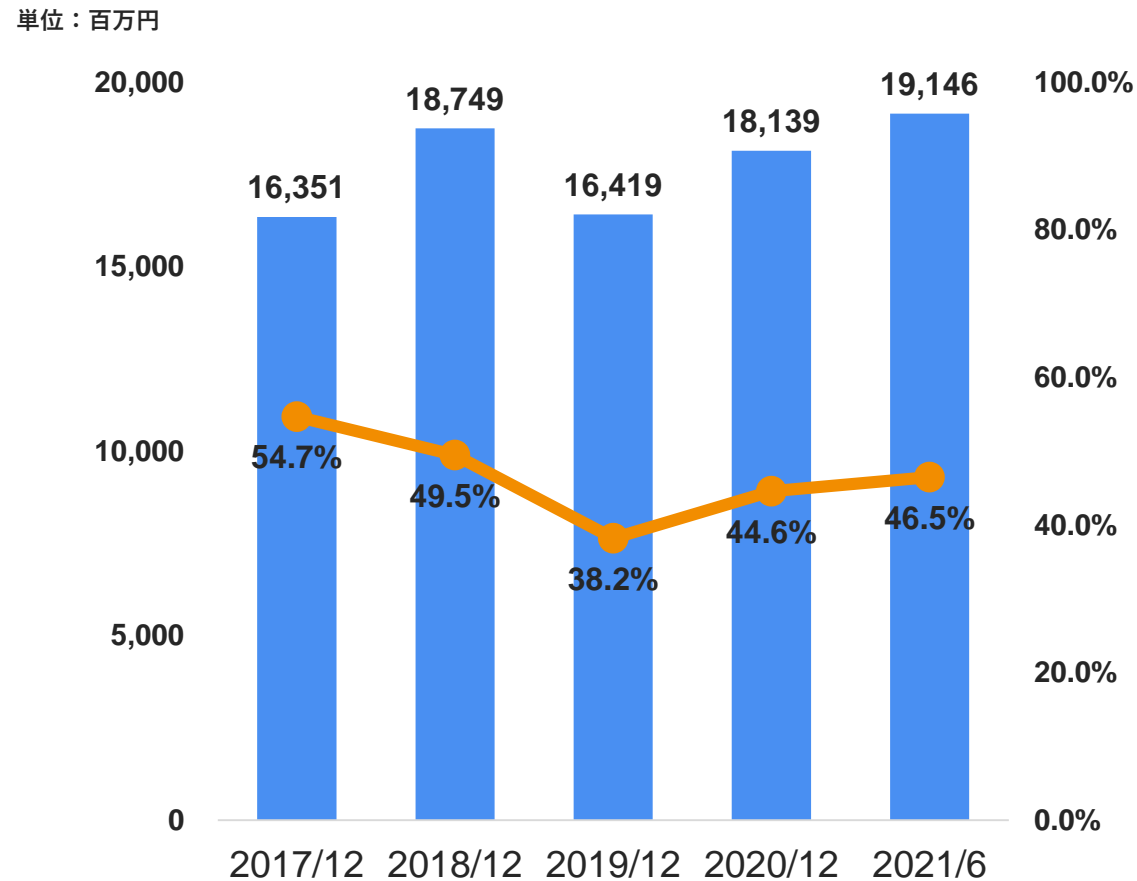
現預金約119億円と財務基盤は安定

単位：百万円

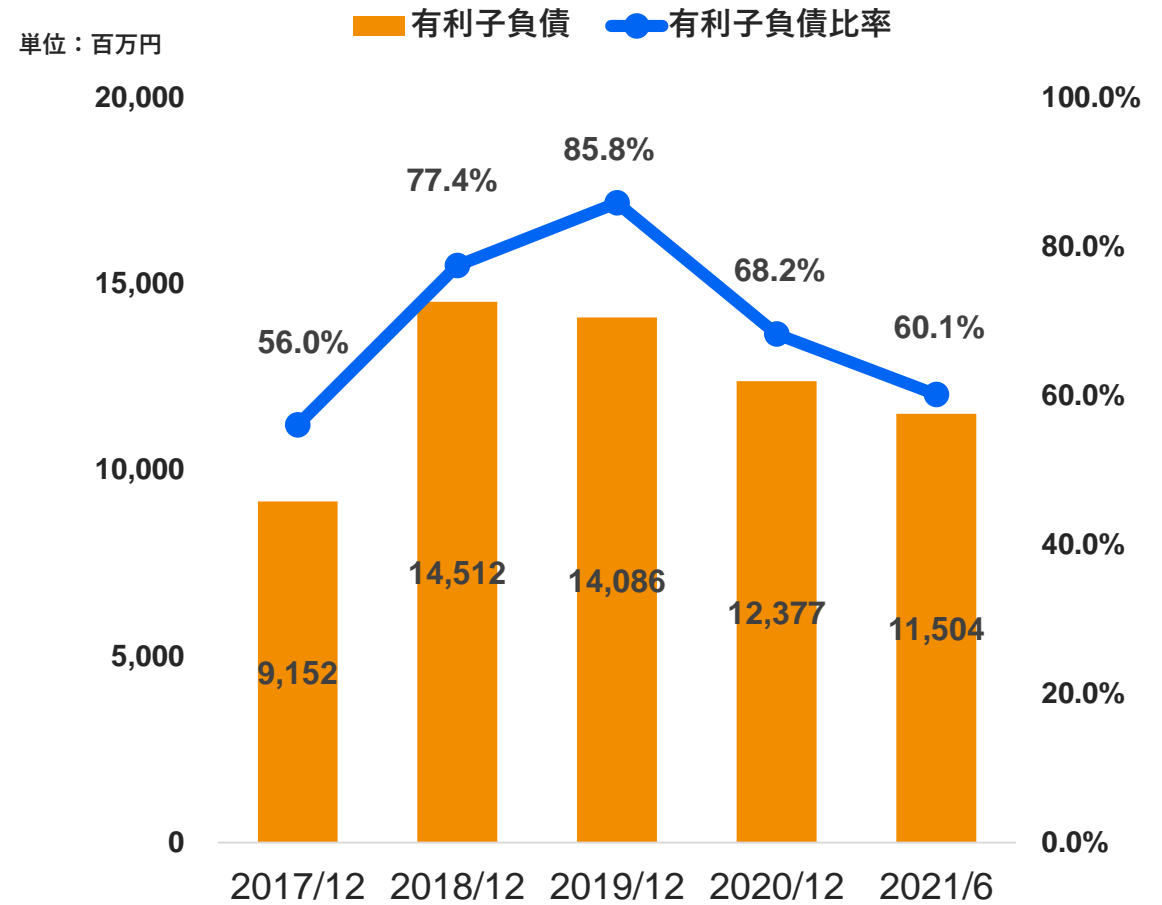
	<p>現預金 11,893</p>	<p>流動負債 7,205</p>	<p>買戻損失引当金 1,962百万円 1年内長期借入金 1,518百万円</p>
<p>販売用不動産 3,562百万円 (内、底地 3,311百万円)</p>	<p>その他流動資産 4,437</p>	<p>固定負債 14,834</p>	<p>長期借入金 7,013百万円 リース債務 1,990百万円 長期未払金 2,606百万円</p>
<p>土地 7,971百万円 建物 5,928百万円 工具器具備品 3,738百万円</p>	<p>固定資産 24,855</p>	<p>純資産 19,146</p>	<p>負債合計 22,040百万円 (前期末比 △ 523百万円)</p>
<p>資産合計 41,186百万円 (前期末比 + 484百万円)</p>			<p>純資産合計 19,146百万円 (前期末比 + 1,007百万円)</p>

自己資本比率46.5%、有利子負債比率は減少と財務状態は改善傾向

自己資本比率の推移



有利子負債の推移



有利子負債：短期借入金＋社債(1年内含む)＋長期借入金(1年内含む)＋リース債務
 有利子負債比率：純資産額に対する有利子負債額の割合

通期業績予想を上方修正、純利益は3.5億円増益を見込む

単位：百万円

	2020年12月期 実績	2021年12月期 従来予想	2021年12月期 修正予想	前期比	従来予想比
売上高	22,477	19,700	19,700	△ 12.4%	—
営業利益	2,275	2,500	2,700	+ 18.6%	+ 200 (+ 8.0%)
経常利益	2,161	2,400	2,600	+ 20.3%	+ 200 (+ 8.3%)
純利益	2,225	1,400	1,750	△ 21.4%	+ 350 (+ 25.0%)

上期の上振れ分を通期業績予想に反映

単位：百万円

		2020年12月期		従来計画	2021年12月期			
		実績	売上比		修正計画	従来予想比	売上比	前期比
ストレージ事業	売上高	14,773	—	15,300	15,300	—	—	+ 3.6%
	事業利益	2,184	14.8%	3,000	3,150	+ 150	20.6%	+ 44.2%
土地権利整備事業 (底地)	売上高	6,063	—	3,200	3,200	—	—	△ 47.2%
	事業利益	872	14.4%	500	500	—	15.6%	△ 42.7%
その他運用 サービス事業	売上高	1,640	—	1,200	1,200	—	—	△ 26.8%
	事業利益	396	24.2%	300	300	—	25.0%	△ 24.3%
管理部門経費	売上高	—	—	—	—	—	—	—
	事業利益	△ 1,178	—	△ 1,300	△ 1,250	+ 50	—	+ 6.1%
全社	売上高	22,477	—	19,700	19,700	—	—	△ 12.4%
	営業利益	2,275	10.1%	2,500	2,700	+ 200	13.7%	+ 18.6%

配当予想：戻り益の影響を除いて上方修正、従来予想から7円増配

1株当たり配当金及び配当性向

	2019年	2020年	2021年 従来予想	2021年 修正予想
1株当たり純利益 (円)	△138.81	176.16	110.84	138.48
1株当たり配当金 (円)	40.0	31.0	34.0	41.0
配当性向	—*	17.6%*	30.7%	29.6%*

* 19年にコンテナ買戻に伴う特別損失を除いた実績をベースに配当を実施したため、20年と同様に21年も買戻損失引当金戻入益の影響を除いた実績をベースに配当を実施予定

今期は業績予想を修正も、現時点では翌期以降の計画変更はなし

中期経営計画 経営目標

	2020年		2021年		2022年		2023年	
	実績	利益率	計画	利益率	計画	利益率	計画	利益率
売上高	22,477	—	19,700	—	21,800	—	23,800	—
営業利益	2,275	10.1%	2,700	13.7%	2,800	12.8%	3,200	13.4%
経常利益	2,161	9.6%	2,600	13.2%	2,700	12.4%	3,100	13.0%

単位：百万円

ストレージ 新規出店室数*	2,780室	1,000室	2,800室	3,700室
------------------	--------	--------	--------	--------

*解約は除く

基本方針と重点施策

代表取締役社長 林 尚道

◆ 当社注力指標『累積事業粗利益－全社経費』が 2 億円/月に到達

累積事業粗利益とは・・・

★ストレージ運用、アセット、オフィスなどストックビジネスの売上総利益

全社経費とは・・・

★販売費及び一般管理費（うち、不動産売買に係る手数料は除く）

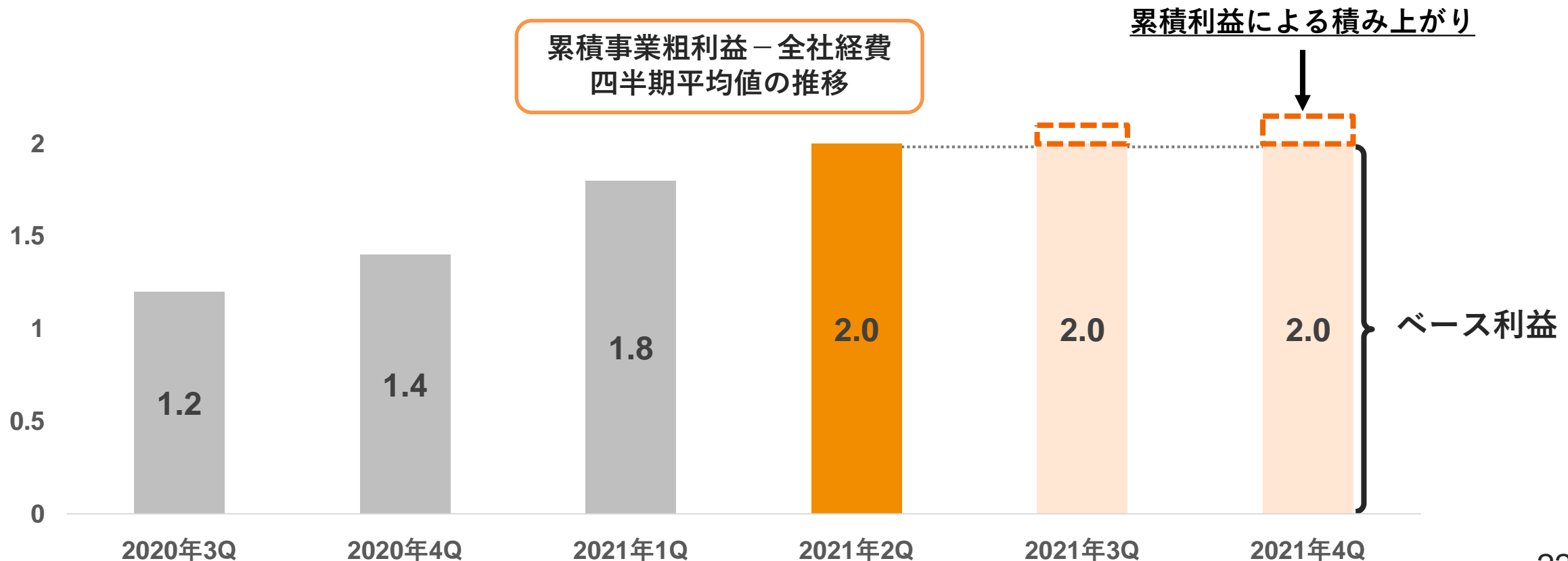


◆ 今後12ヶ月で最低 2 億円/月 × 12 = 約 24 億円の営業利益見込

◆ 上記 + α で底地売買・ストレージ流動化の利益が上乘せされていく

◆ 上昇要因

- ①稼働率上昇による収益性の向上
- ②コンテナの買戻しで原価が下がったことによる利益の増加



ストックビジネスで安定成長する

成長市場であるストレージが軸

安定した収益基盤・キャッシュフロー

パーヘッド経営(1人あたり利益)



将来の新規事業展開を見据え
ビジネスチャンスをタイムリーにつかむ

世の中にトランクルームの素晴らしさを伝える 「生活の質」向上のため、ストレージ事業の成長を実現する

『質』の改善

- ・ お客様のお役に立つ商品へ
- ・ 認知度の向上



『量』の成長

- ・ 出店室数とシェアの拡大
- ・ 新商品の開発



事業を通じて社会に貢献する

『収納グランプリ』を社内で開催、実際の利用による気づきを形に

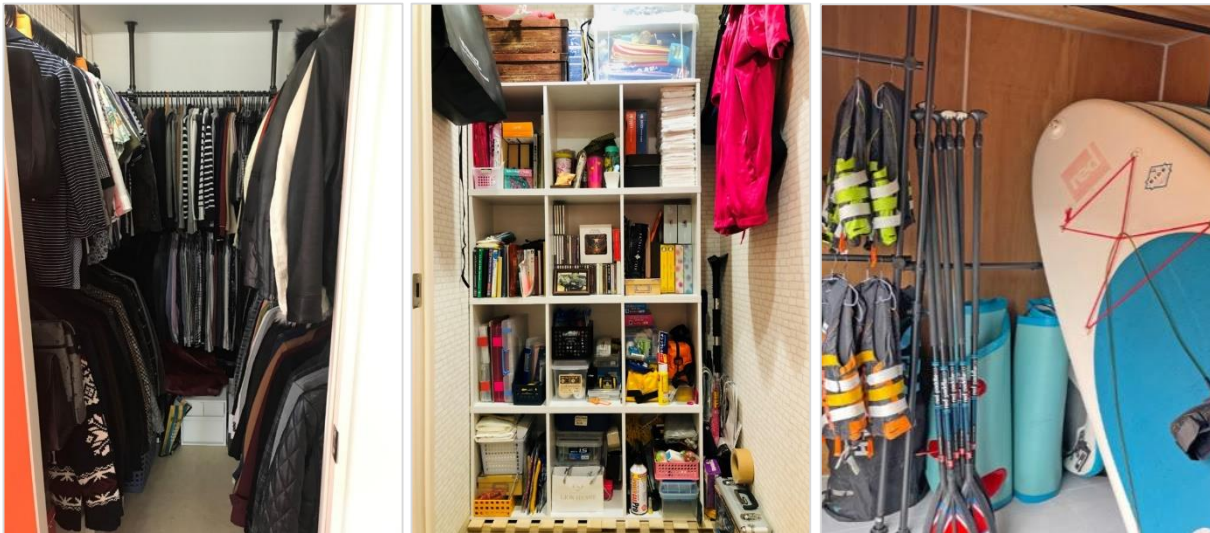
- ◆ エリアリンク社内でテスト的に開催
- ◆ 社員が商品を知り、気づきを得ることでサービスの開発・改善につなげる
- ◆ トランクルームの良さ、便利さを体感することができたという声が多い
 - ・ トランクルームは社会のお役に立つ商品なのだと実感できた
 - ・ 自宅が広くなり快適になったことで、心の余裕も生まれた



業界団体(JSSA)でストレージ市場を拡大するため
JSSA主催の収納グランプリを開催

業界団体で商品を知るプロジェクト『収納グランプリ』を開催

◆ 業界団体(JSSA)主催の『収納グランプリ』は、お客様から写真や感想を募集



～お客様の声～

- マンション在住で趣味のスペースがなくコンテナを隠れ家のように使っている
- 家に置けない大量の洋服を収納
空調も効いているので安心
- 倉庫というより部屋が一つ増えた感じ
広い部屋に引っ越すより、安くて満足
- 60年集めた趣味のモノと家族との思い出の品を収納。便利さの誘惑に負けてどんどんモノが増えていってしまう

運搬サービス：ハロー宅配便



- 自宅からトランクルーム収納までをオールインワンで提供
- さらに便利さを感じてもらえるサービスへ

ラック販売（開始予定）

- 収納容量増加、整理整頓が可能
- ラック付の部屋の稼働が好調

▼
備品販売の一環として
ラック販売サービスを開始予定



交通系ICカードのセキュリティ物件



- カード発行や管理の煩わしさを低減
- 複数名利用時にはカード追加発行が不要
- スマートフォンアプリでも開錠可能

現場の改善

屋外コンテナ型

- 車が入りやすいように入口を広げる
- 場内の事故防止のための一部コンテナ撤去
- 砂利物件のアスファルト舗装

屋内トランク型

- カゴ付き台車の設置
- 夏場の湿度、カビ対策

今期計画の出店室数1,000室は達成見込み、地方の出店を加速

◆ 上期出店室数：504室、進捗率50.4%と今期計画室数は達成の見込

- ・ コンテナ：地方の10万人都市を中心に出店を進める、今期はコンテナ出店が中心
- ・ 土地付きストレージ：2019年に契約した物件を2件出店
- ・ ストレージミニ：2021年12月に1号店をオープン予定、土地仕入件数は現時点で12件
- ・ ハロービズストレージ：2021年3月に町田市にオープン、出店はエリア厳選を慎重に進める

地方物件出店事例



HS三条市三竹（新潟県）



HS日立金沢町（茨城県）



HS竜王新町（山梨県）

12月オープン予定の『ストレージミニ』が今後の主力商品に

◆ 従来の土地付きストレージ

- ・ 土地面積100～250坪、3階建て以上、総室数80～200室
- ・ 大都市圏のみ出店可能
- ・ 収益に貢献するまでに長い期間を要する



◆ 出店強化の方針を掲げている『ストレージミニ』

- ・ 土地面積50坪程度、木造3階建て、総室数40～50室
- ・ 大都市圏に加え、地方の10万人都市も出店可能エリアと見込む
- ・ 1年以内の損益分岐点超えを見込む
- ・ 2021年12月末に1号店がオープン予定



『ストレージミニ』イメージ

コンビニ感覚の『ストレージミニ』は地方都市でも収益貢献を見込む

◆ ストレージミニの出店エリア・コンセプト

- ・ 首都圏、大阪、名古屋に加え、青森・山口など地方都市にも出店予定
- ・ 「家から近いこと」が契約に至る主要因、コンビニのように「近くて便利」がコンセプト
- ・ コンテナ型に比べて屋内型の商品は安心・安全度が高い

◆ なぜ『ストレージミニ』の出店を強化するのか

- ・ 屋外コンテナ型と比べて高い商品力を備えたスペースを提供でき、女性も使いやすい
- ・ グローバル進出のための基礎となる商品として、当社の主力商品になる

◆ 人口が都心部に集中しているが、地方都市の出店でも収益に貢献するのか

- ・ 室数やエリアを厳選した地方のコンテナの稼働率が良好・ニーズが顕在
- ・ 地方は屋内型トランクルームの競合が少なく、未開拓市場としてチャンスが大きい

トランクルームは人生を豊かにする

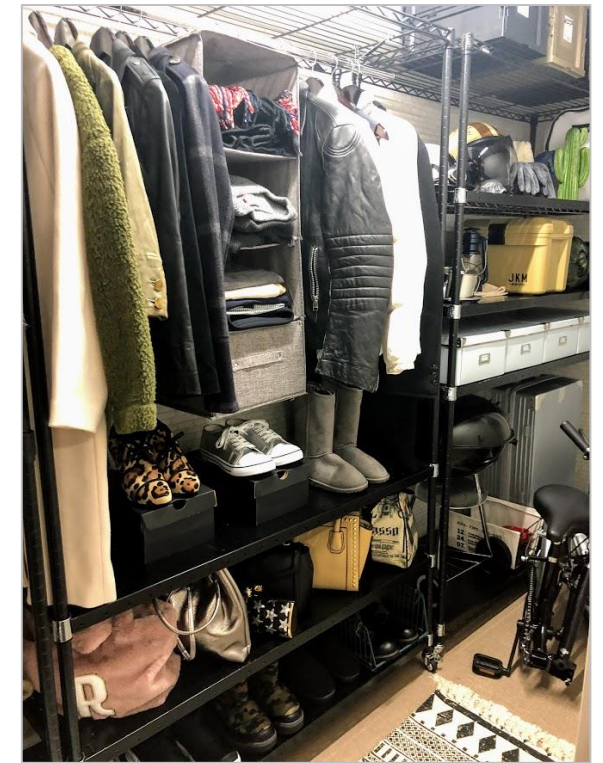


トランクルームはただの物入ではありません
「日本の住宅は狭い」その事実は変わりません
トランクルームへの収納を通じて
『住みやすさの最大化』に貢献することが私たちの使命

収納空間を最大限に活用していただき
トランクルームの便利さで感動を提供し
お客様の人生を豊かにすることに貢献します

トランクルームは暮らしを変える
トランクルームで人生が変わる

We supply the best use of space.



経営理念

世の中に便利さと楽しさと感動を提供する

目指す姿

1. ストレージを通じて人々の豊かな暮らしに貢献する
2. ストックビジネスで中長期的に安定成長を実現する
3. ESG経営を推進し、社会課題を解決する

Appendix

2Q(3ヶ月)では増収・大幅増益を達成

単位：百万円

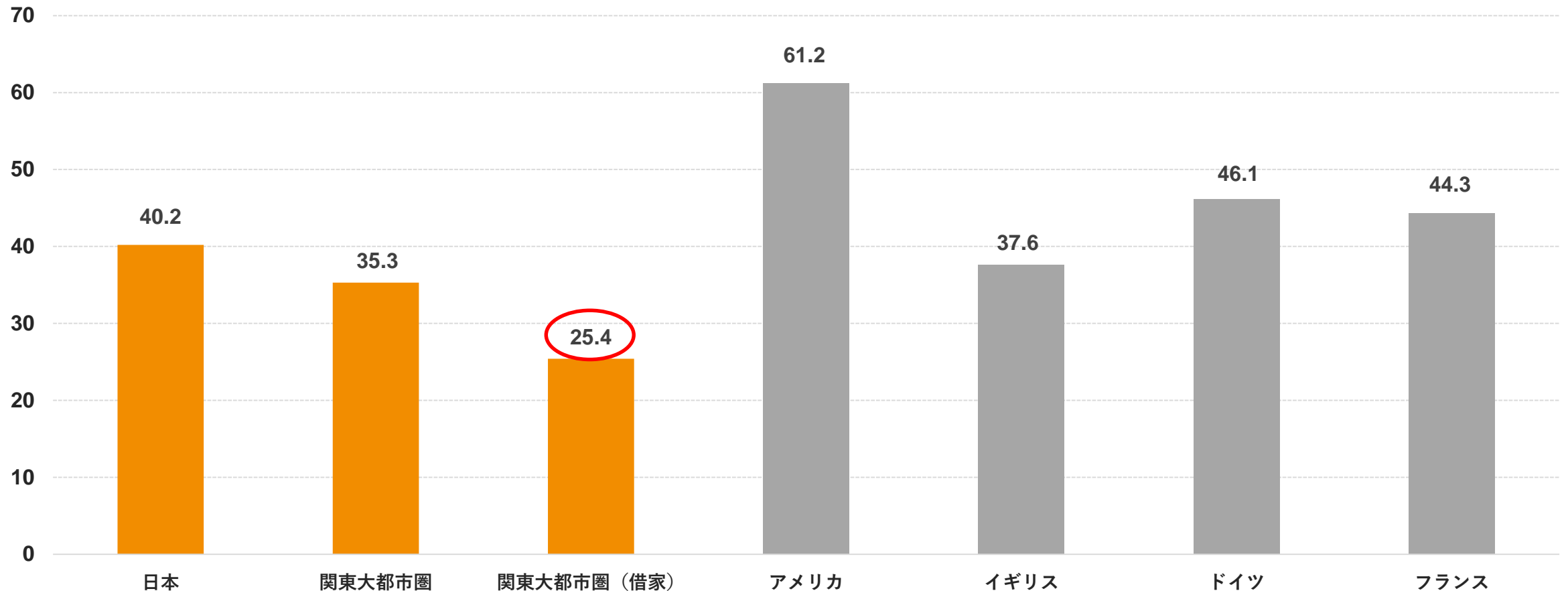
	FY2020_2Q (4-6月)		FY2021_2Q (4-6月)		
	実績	売上比	実績	売上比	前年同期比
売上高	5,267	—	5,431	—	+ 3.1%
売上原価	4,070	77.3%	3,808	70.1%	△ 6.4%
売上総利益	1,196	22.7%	1,622	29.9%	+ 35.6%
販管費	736	14.0%	732	13.5%	△ 0.6%
営業利益	460	8.7%	890	16.4%	+ 93.4%
経常利益	433	8.2%	894	16.5%	+ 106.2%
四半期純利益	294	5.6%	638	11.8%	+ 117.2%

ストレージ運用が大幅増益、業績をけん引

単位：百万円			FY2020_2Q (4-6月)		FY2021_2Q (4-6月)		
			実績	売上比	実績	売上比	前年同期比
ストレージ 運用	売上高	3,485	—	3,731	—	+ 7.0%	
	売上総利益	773	22.2%	1,172	31.4%	+ 51.5%	
	事業利益	488	14.0%	871	23.4%	+ 78.3%	
ストレージ 流動化	売上高	142	—	—	—	—	
	売上総利益	25	18.1%	△ 3	—	—	
	事業利益	△ 29	—	△ 57	—	+ 96.3%	
ストレージ事業	売上高	3,627	—	3,731	—	+ 2.8%	
	売上総利益	799	22.0%	1,168	31.3%	+ 46.2%	
	事業利益	459	12.7%	813	21.8%	+ 77.1%	
土地権利整備事業 (底地)	売上高	1,227	—	1,359	—	+ 10.8%	
	売上総利益	254	20.8%	343	25.2%	+ 34.8%	
	事業利益	181	14.8%	254	18.7%	+ 40.2%	
その他運用 サービス事業	売上高	412	—	340	—	△ 17.4%	
	売上総利益	142	34.6%	110	32.4%	△ 22.5%	
	事業利益	112	27.1%	95	28.0%	△ 14.8%	
管理本部	売上高	—	—	—	—	—	
	売上総利益	—	—	—	—	—	
	事業利益	△ 292	—	△ 272	—	△ 6.7%	
全社	売上高	5,267	—	5,431	—	+ 3.1%	
	売上総利益	1,196	22.7%	1,622	29.9%	+ 35.6%	
	営業利益	460	8.7%	890	16.4%	+ 93.4%	

住宅面積が狭い日本は、収納に関する潜在需要が大きい

単位：㎡ 一人当り住宅床面積の国際比較（壁芯換算値）



参照：国土交通省「令和2年度 住宅経済関連データ」
住宅水準の国際比較 (2) 一人当り住宅床面積の国際比較（壁芯換算値）

ストレージ：時代の変化に合致した多様なニーズを獲得する力がある

従来

さまざまなニーズでの利用実績がある

- 工具、資材置き場
- 季節用品（衣類・タイヤ・スポーツ用品など）
- コレクショングッズの収納、趣味を楽しむ部屋
- 引っ越し、リフォームによる一時的利用
- 終活による荷物整理／遺品の収納



コロナ
禍

『新しい生活様式』のニーズを取り込む

- 自宅にテレワークスペースを設けるための荷物整理場所
- アウトドア用品の収納（キャンプブーム／外出自粛の影響）
- オンライン授業化により帰郷した大学生の荷物収納

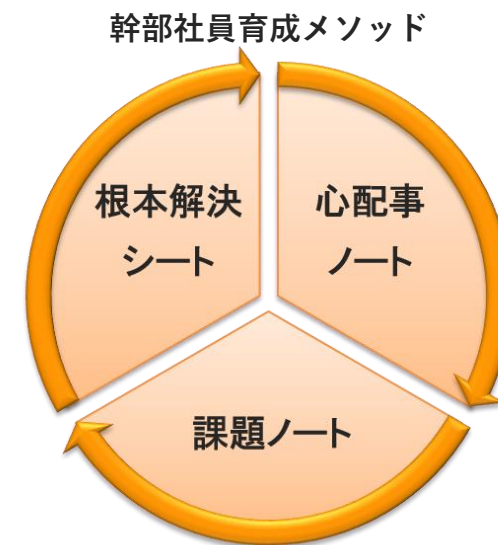


▶ ストレージは時代の変化に合致したニーズを取り込む力がある
今後も需要拡大の期待が大きい

人材育成メソッドと資源長期活用で、事業を通じて社会に貢献する

◆ 育成メソッドを活用した人材開発

- ・ 一般社員：エリアリンクマスターを通じた業務レベルの向上
- ・ 幹部社員：リスク・課題を先読みし根本解決策を考えるしくみ



◆ 資源の長期活用（廃棄物削減）に向けた取り組み事例

- ・ コンテナ：メンテナンス技術の確立、適正な塗装工事のタイミングの算出
- ・ 建物：長期活用できる木材の選定、リニューアル手法の最適化



メンテナンス前



メンテナンス後



赤錆



転換材利用

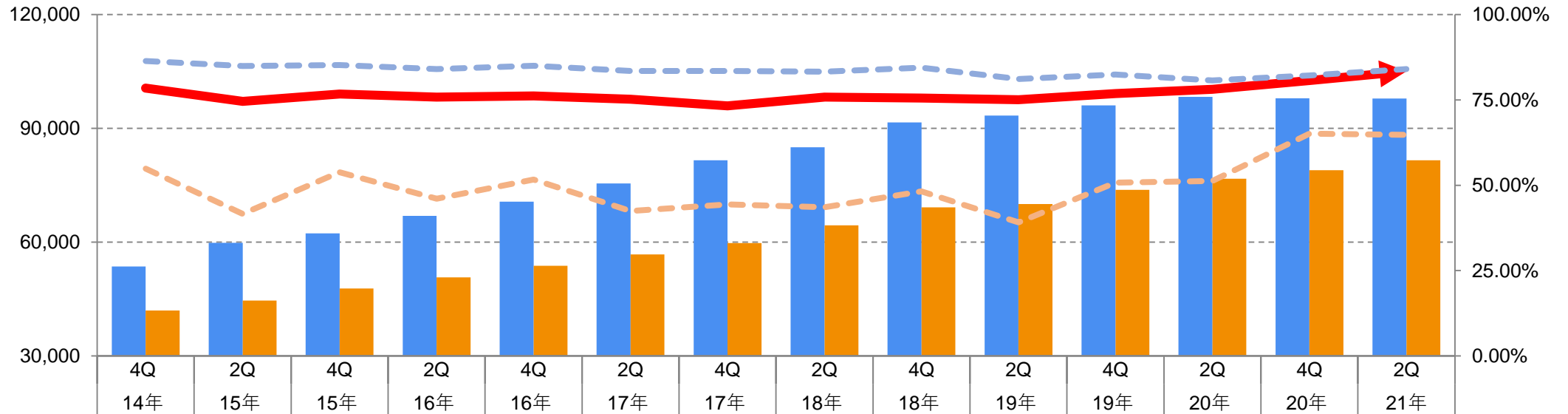


黒錆

2019年以降の厳選出店により、稼働率は過去10年間の最高値

総室数、稼働室数、稼働率の推移

単位：室数



	4Q 14年	2Q 15年	4Q 15年	2Q 16年	4Q 16年	2Q 17年	4Q 17年	2Q 18年	4Q 18年	2Q 19年	4Q 19年	2Q 20年	4Q 20年	2Q 21年
■ 総室数	53,564	59,802	62,325	66,923	70,651	75,440	81,555	85,005	91,545	93,372	96,067	98,289	97,885	97,836
■ 稼働室数	42,009	44,603	47,796	50,739	53,786	56,742	59,748	64,432	69,169	70,064	73,815	76,743	78,958	81,583
➡ 稼働率 (%)	78.43%	74.58%	76.69%	75.82%	76.13%	75.21%	73.26%	75.80%	75.56%	75.04%	76.84%	78.08%	80.66%	83.39%
--- 既存稼働率 (%)	86.36%	84.90%	85.19%	84.03%	84.97%	83.45%	83.48%	83.24%	84.46%	81.10%	82.40%	80.68%	82.17%	84.03%
--- 新規稼働率 (%)	54.85%	41.63%	53.84%	46.04%	51.69%	42.43%	44.36%	43.57%	48.20%	39.14%	50.73%	51.26%	65.10%	64.78%

※オープンから2年以上経たものは「既存」、2年未満は「新規」としています。
2021年は、2020年～2021年にオープンした物件を「新規」としています。

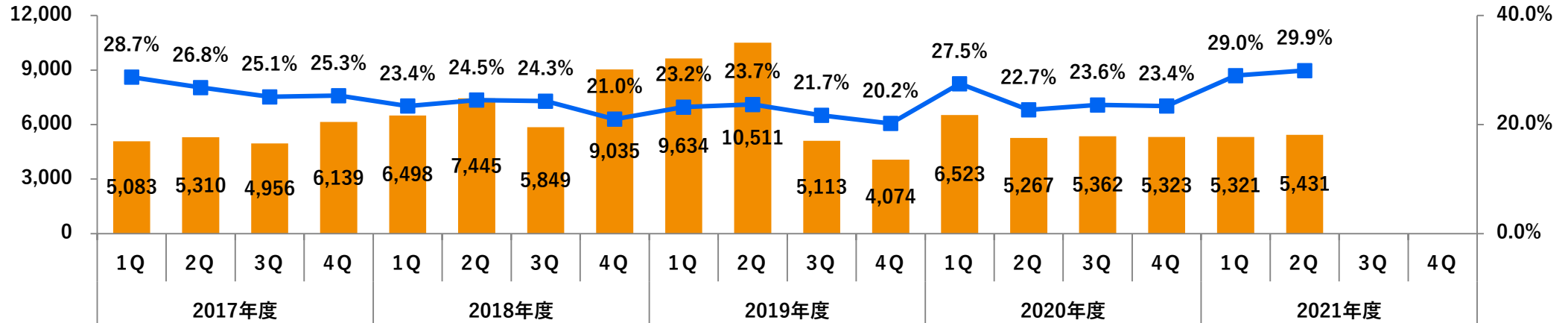
ストレージ事業：地域別出店室数

	コンテナ	トランク	合計	総室数に占める割合
北海道	974	559	1,533	1.6%
青森県	30	0	30	0.0%
宮城県	1,619	0	1,619	1.7%
山形県	50	0	50	0.1%
福島県	87	0	87	0.1%
茨城県	822	0	822	0.8%
栃木県	313	0	313	0.3%
群馬県	982	0	982	1.0%
埼玉県	8,693	2,157	10,850	11.1%
千葉県	10,142	1,500	11,642	11.9%
東京都	17,303	13,979	31,282	32.0%
神奈川県	8,804	3,944	12,748	13.0%
新潟県	136	0	136	0.1%
富山県	143	0	143	0.1%
石川県	203	0	203	0.2%
福井県	112	0	112	0.1%
山梨県	180	0	180	0.2%
長野県	282	0	282	0.3%
岐阜県	618	0	618	0.6%
静岡県	1,393	0	1,393	1.4%
愛知県	4,980	1,045	6,025	6.2%
三重県	378	50	428	0.4%
滋賀県	235	0	235	0.2%

	コンテナ	トランク	合計	総室数に占める割合
京都府	1,361	152	1,513	1.5%
大阪府	4,073	1,129	5,202	5.3%
兵庫県	3,715	121	3,836	3.9%
奈良県	606	0	606	0.6%
和歌山県	27	0	27	0.0%
鳥取県	52	0	52	0.1%
島根県	30	0	30	0.0%
岡山県	218	0	218	0.2%
広島県	345	0	345	0.4%
山口県	169	0	169	0.2%
徳島県	27	0	27	0.0%
香川県	198	76	274	0.3%
愛媛県	118	0	118	0.1%
高知県	52	0	52	0.1%
福岡県	2,378	0	2,378	2.4%
佐賀県	106	0	106	0.1%
長崎県	118	0	118	0.1%
熊本県	402	0	402	0.4%
大分県	106	0	106	0.1%
宮崎県	123	0	123	0.1%
鹿児島県	385	0	385	0.4%
沖縄県	36	0	36	0.0%
合計	73,124	24,712	97,836	100.0%

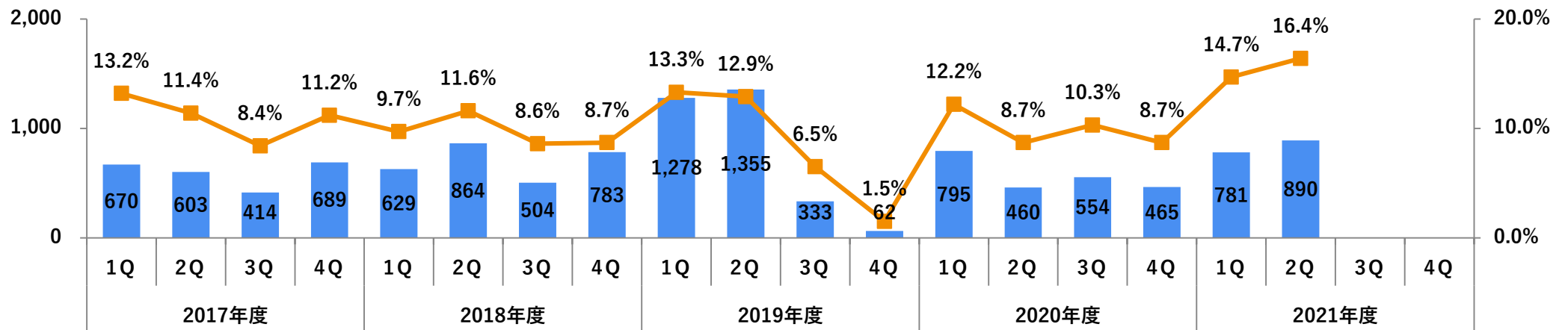
売上高(売上額・売上総利益率)の推移

(単位：百万円)



営業利益(利益額・利益率)の推移

(単位：百万円)



事業セグメントー四半期業績推移

単位：百万円		2020年		2021年				
		通期	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	
ストレージ運用	売上高	14,027	3,654	3,731			7,385	
	売上総利益	3,502	1,138	1,172			2,311	
	事業利益	2,333	848	871			1,719	
	ストレージ流動化	売上高	746	482	—			482
		売上総利益	111	55	△ 3			52
		事業利益	△ 148	△ 20	△ 57			△ 78
ストレージ事業	売上高	14,773	4,136	3,731			7,867	
	売上総利益	3,614	1,194	1,168			2,363	
	事業利益	2,184	828	813			1,641	
土地権利整備事業	売上高	6,063	834	1,359			2,193	
	売上総利益	1,362	232	343			575	
	事業利益	872	133	254			387	
その他運用 サービス事業	売上高	1,640	350	340			691	
	売上総利益	522	115	110			226	
	事業利益	396	98	95			193	
管理本部	売上高	—	—	—			—	
	売上総利益	—	—	—			—	
	事業利益	△ 1,178	△ 278	△ 272			△ 551	
全社	売上高	22,477	5,321	5,431			10,753	
	売上総利益	5,499	1,542	1,622			3,164	
	営業利益	2,275	781	890			1,671	

保有不動産の主要物件例

2021年6月末日時点

物件名	所在地	物件数	用途	帳簿価額 (土地・建物) 単位：百万円
トランクハウス24シリーズ	東京都ほか 5都道県	31	ストレージ	6,169
ホテル (コンフォートイン・ベストイン)	山梨県甲府市他	5	ホテル	1,197
神田BMビル	東京都千代田区	1	事務所・店舗	937
銀座出井ビル	東京都中央区	1	店舗	885
海外ストレージ	米国テキサス州	1	ストレージ	764



トランクハウス24目黒本町
(東京都目黒区)



トランクハウス24平塚老松町
(神奈川県平塚市)



銀座出井ビル
(東京都中央区)



神田BMビル
(東京都千代田区)



テキサスストレージ
(米国テキサス州)

当資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略などに関する情報は、資料作成時点において、当社が合理的に入手し、可能な情報に基づいて、予測し得る範囲内で判断をし、作成した資料です。

しかし実際には、通常予測し得ないような特別事情の発生または結果など、当資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じるリスクを含んでおります。

当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、積極的に開示を努めてまいります。当資料記載の業績見通しのみにより全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転送などを行われぬようお願いいたします。

お問合せ先

エリアリンク株式会社 管理本部 IR室

TEL : 03-3526-8556 E-mail : info@arealink.co.jp